



カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	エコアクション21の認証(0012164)を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	エコアクション21の活動により、毎年度、環境経営レポートを作成している。												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】太陽光等、再生可能エネルギーの活用を今後検討していく。							7.2						13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	グリーン購入を推進し、品質や価格だけでなく環境負荷ができるだけ小さい製品を購入している。												12.2	13	14	15			
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則の中で禁止を明記し、社員に周知している。																16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則の中で禁止を明記し、社員に周知している。																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	第三者の特許権及び著作権等、知的財産権の不正利用や侵害する行為は行わない事を周知している。社内においてもその適切な保護に取り組んでいく。									8.2	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	情報管理ルールの周知、徹底を図っている。																	16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社事業での取り扱いなし。																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	認識を共有し、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響等の防止に努めている。					5				8		10		12	13	14	15	16	17
28		製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	想定されるリスクの洗い出しと対策・確認を毎度実施している。			3.9									12.4					
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	お客様や周囲の皆様からのクレーム・ご意見等にはすぐに対応する体制を構築している。																9		
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	自社事業での取り扱いなし。						6							12	13	14	15		
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	要望・提言について積極的に対処し、課題解決に向けた取り組みを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
32	地域貢献、社会貢献	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	環境経営方針を制定し、地域の環境保全を行う為、環境に配慮した施工活動に努めている。地域の皆様のご意見も十分考慮し、事前に説明を行う等ご理解をいただいている。				4							9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域への寄付や、ゴミ拾い等の活動に参加している。				4										11			14	15		17	
34		【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域資源の優先的利用について、今後検討していく。										8	9			11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営方針を明文化している。また、毎期経営トップから説明があり、目標を社内で共有している。										8	9									17	
36		【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令・法規等について最新のものとなるよう確認し、社内浸透を図り、その遵守状況について都度確認・評価している。																				16	
37		【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	環境管理責任者・環境事務局を置き、社会環境に及ぼす影響に対応している。																				16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容把握に努める。																				16	17
39		【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクアセスメントを実施し、防止対策を講じている。																				16	
40		【社会的責任】 ・ CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	内部、外部の課題を把握し、自社の目標を設定。全社員が取組の重要性を自覚し、責任を持って活動している。																				16	
41	【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	各種事故や災害に対して手順書を作成し、定期的に訓練を実施する。											9			11		13 13.1				16		
42	【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	親族内・親族外などの継承方法の他、いろいろな方法を検討し、それぞれ選択した場合のメリット・デメリットを調査していく。具体的な方針およびその対策は、専門機関に相談。										8	9									17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・ 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）